

招集ご通知

GMO ペパボ

第16期 定時株主総会

平成30年3月18日(日曜日) 午前10時00分

東京都渋谷区桜丘町26番1号

セルリアンタワー東急ホテル 地下2階 ボールルーム

GMOペパボ株式会社

証券コード: 3633



GMOペパボ株式会社
代表取締役社長

佐藤 健太郎

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素より、私どもの成長事業への戦略的な投資につきまして
あたたかいご支援とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

平成29年12月期の業績は、売上高については創業以来右肩上がりに成長し、73.6億円と過去最高を更新いたしました。また、売上高が増加したことにより「minne」への広告宣伝費11億円を吸収し、営業利益は1.4億円となりました。今後も、主力のストック型事業の安定成長を図りつつ、ハンドメイド事業の拡大に注力し、株主の皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいります。

平成30年1月7日に発生した当社運営サービス「カラーミーショップ」における不正アクセスによる情報流出につきましては、株主の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

当社は、全役員及び全従業員一丸となって、情報セキュリティ体制の強化と再発防止を確実に実行していく所存であります。株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様からの信頼回復に努めてまいりますので、何卒、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、今回も株主総会後に「ペパボ近況報告会」を開催いたします。今期の全社方針をはじめ、各事業の状況や今後の展開につきまして株主の皆様にご説明させていただきたく、ご多忙の折とは存じますが、皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。



企業理念 もっとおもしろくできる

ユーザーの表現活動がどんどん広がるにつれて私たちの会社も少しずつ大きくなっていく中で、「私たちはもっとおもしろいことにチャレンジできる」という自分たちの可能性を信じて策定したものです。

おもしろいサービスを作ることはもちろん、おもしろいと思ってもらえる企画を考えること、自分の仕事をもっと楽しむこと、職種や年齢に関係なく「もっとおもしろくできる」ことは無限にあります。

「いいね!」と褒められるのも嬉しいけど、「おもしろいね!」と言われるのはもっと嬉しい、そんな仲間が集まって、ペパボという会社を作っています。

ミッション インターネットの可能性をつなげる、ひろげる

インターネットで何かを始めたいという人たちの可能性と、ペパボが提供するサービスが出会うことで、「趣味で開業したネットショップがビジネスになった」、「ホームページで楽曲公開したことがメジャーデビューにつながった」といった、新たな可能性を生み出せるきっかけを提供したいと考えています。

私たちは、一人ひとりが持つ力や可能性をひろげるために、インターネットと表現の可能性を追求しながらサービスを運営していくこと、そして新しいものを生み出していくことでいろんな人たちがインターネットで可能性を開花し、活躍できるための環境を創造していきます。

証券コード 3633
平成30年2月28日

株 主 各 位

東京都渋谷区桜丘町26番1号
GMOペパボ株式会社
代表取締役社長 佐藤 健太郎

第16期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第16期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席下さいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討下さいまして、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成30年3月16日（金曜日）午後7時までに到着するようご送付いただきたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成30年3月18日（日曜日）午前10時00分
2. 場 所 東京都渋谷区桜丘町26番1号
セルリアンタワー東急ホテル 地下2階 ボールルーム
（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照下さい。）
3. 目的事項
報告事項 第16期（平成29年1月1日から平成29年12月31日まで）事業報告及び計算書類報告の件
決議事項
第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）11名選任の件
第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

以 上

-
- ・ 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さいますようお願い申し上げます。なお、株主総会参考書類、事業報告及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://pepabo.com/>）に掲載させていただきます。
 - ・ 計算書類の個別注記表につきましては、法令及び当社定款第16条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://pepabo.com/>）に掲載しておりますので、本招集ご通知には記載しておりません。したがって、本招集ご通知の添付書類は、監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査をした対象の一部であります。

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）11名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）全員（11名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、取締役（監査等委員である取締役を除く。）11名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関し、監査等委員会は特段の意見がない旨を確認しております。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者は次のとおりであります。

候補者 番 号	氏 名	地 位	担 当	当事業年度における 取締役会への出席状況（出席率）
1	再任 佐 藤 健太郎	代表取締役社長	—	16回中すべてに出席 (100%)
2	再任 熊 谷 正 寿	取締役会長	—	16回中10回出席 (63%)
3	再任 星 隼 人	常務取締役	E C事業部担当	16回中すべてに出席 (100%)
4	再任 五十島 啓 人	常務取締役	H R統括部長	16回中すべてに出席 (100%)
5	再任 河 添 理	取締役	S H事業部長	16回中すべてに出席 (100%)
6	再任 永 椎 広 典	取締役	福岡支社長 兼ホスティング事業部長	16回中すべてに出席 (100%)
7	再任 栗 林 健太郎	取締役	技術部長	就任以降の取締役会 12回中12回出席 (100%)
8	再任 野 上 真 穂	取締役	経営管理部長	就任以降の取締役会 12回中12回出席 (100%)
9	再任 西 山 裕 之	取締役	—	16回中すべてに出席 (100%)
10	再任 伊 藤 正	取締役	—	16回中15回出席 (94%)
11	再任 安 田 昌 史	取締役	—	16回中12回出席 (75%)

候補者
番 号

1



さ と う けんたろう

佐 藤 健太郎

(昭和56年1月10日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

19,500株

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成15年1月 有限会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 入社
平成17年1月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 社長室長
平成18年2月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 取締役経営企画室長
平成19年3月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 取締役副社長経営企画室長
平成20年3月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 代表取締役副社長経営企画室長
平成21年3月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 代表取締役社長 (現任)
平成22年3月 GMOインターネット株式会社取締役 (現任)
平成24年6月 株式会社ブクログ取締役会長
平成26年3月 株式会社ブクログ代表取締役社長
平成27年6月 OCアイランド株式会社取締役会長

・選任理由

佐藤健太郎氏は、当社創立以来、重要な役職を歴任し経営者としての豊富な経験と幅広い見識を有しております。また、長きにわたり代表取締役社長として、取締役会決議を執行し、会社の業務を統括しております。以上のことから、引き続き取締役候補者といたしました。

候補者
番号

2

くまがい まさとし
熊谷正寿

(昭和38年7月17日生)

再 任所有する当社の株式数
普通株式
—

■ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

- 平成 3 年 5 月 株式会社ボイスメディア（現GMOインターネット株式会社）
代表取締役
- 平成11年 9 月 株式会社まぐクリック（現GMOアドパートナーズ株式会社）
代表取締役
- 平成12年 4 月 株式会社まぐクリック（現GMOアドパートナーズ株式会社）
取締役
- 平成13年 8 月 株式会社アイル（現GMOクラウド株式会社）代表取締役会
長
- 平成14年 4 月 GMO総合研究所株式会社（現GMOリサーチ株式会社）取締
役会長（現任）
- 平成15年 3 月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）代表取締役会長兼社長
株式会社アイル（現GMOクラウド株式会社）取締役会長
（現任）
- 平成16年 3 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）取締役
会長（現任）
GMOモバイルアンドデスクトップ株式会社（現GMOメディ
ア株式会社）取締役会長（現任）
- 平成16年12月 株式会社カードコマースサービス（現GMOペイメントゲー
トウェイ株式会社）取締役会長
- 平成19年 3 月 株式会社まぐクリック（現GMOアドパートナーズ株式会社）
取締役会長
- 平成20年 5 月 GMOインターネット株式会社代表取締役会長兼社長グルー
プ代表（現任）
- 平成21年 4 月 株式会社イノベックス（現GMO TECH株式会社）取締役会
長（現任）
- 平成23年12月 GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役会長兼社長
- 平成24年12月 GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役会長（現任）
- 平成27年 3 月 GMOアドパートナーズ株式会社取締役
- 平成28年 3 月 GMOアドパートナーズ株式会社取締役会長（現任）

■ 選任理由

熊谷正寿氏は、GMOインターネット株式会社の経営者として、長きにわたり企業経営に携わっていることから、業界動向や経営に関する豊富な経験と高い見識を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者となりました。

候補者
番号

3



ほし は や と
星 隼 人

(昭和52年12月26日生)

再 任

所有する当社の株式数
普通株式
3,700株

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成16年6月 有限会社グローバルコミュニケーションズ入社
平成17年6月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 入社
平成19年1月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) クリエイティブホスティング事業部長
平成23年11月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 社長室長
平成24年5月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 事業開発本部長
平成24年6月 株式会社ブクログ取締役
平成25年7月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) EC事業部長
平成26年3月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 取締役EC事業部長
平成27年6月 OCアイランド株式会社取締役
平成29年3月 GMOペパボ株式会社常務取締役 (現任)

・選任理由

星隼人氏は、平成17年の入社以来、社長室長等を経て、EC事業部を統括するなど、豊富な経験と実績を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者いたしました。

候補者
番号

4



いがしま よしと

五十島 啓 人

(昭和50年9月23日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

2,400株

■ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成16年12月 監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）入所
平成20年8月 公認会計士登録
平成25年1月 株式会社エスコ入社
平成26年2月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）入社
平成26年3月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）取締役
経営戦略部長
平成27年3月 GMOペパボ株式会社取締役経営戦略部副部長
平成28年1月 GMOペパボ株式会社取締役経営戦略部長
平成29年3月 GMOペパボ株式会社常務取締役HR統括部長（現任）

■ 選任理由

五十島啓人氏は、公認会計士の資格を有し当社の会計監査人である有限責任監査法人トーマツ出身であり、当社の担当として、上場時より監査業務を担当し、現在はHR統括部等を統括し豊富な経験と実績を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者いたしました。

候補者
番 号

5



かわ ぞえ

おさむ

河 添 理

(昭和50年3月25日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

5,000株

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成12年7月 株式会社ネスコウイング入社
 平成16年6月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 入社
 平成18年4月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) Color Me Shop!事業部長
 平成19年1月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) EC事業本部長兼Color Me Shop!事業部長
 平成21年4月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) EC・コミュニティ事業本部長
 平成23年7月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) EC事業本部長
 平成24年3月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 取締役EC事業本部長
 平成25年7月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 取締役本社事業部長
 平成26年3月 株式会社ブクログ取締役
 平成29年3月 GMOペパボ株式会社取締役SH事業部長 (現任)

・選任理由

河添理氏は、平成16年の入社以来、主にEC事業に従事し、Color Me Shop!事業部長等を経て、現在はSH事業部を統括し豊富な経験と実績を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者としたしました。

候補者
番号

6



ながしい ひろのり

永 椎 広 典

(昭和55年2月21日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

1,000株

■ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成14年4月 アドバンスト・マネージメント・コンサルティング株式会社
入社

平成15年5月 有限会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 入社

平成18年1月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) ロリポ
ップ・ムーブメントメイン事業部長

平成19年5月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) ロリポ
ップ事業部長

平成23年7月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) ロリポ
ップ事業本部長

平成24年8月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) ホステ
ィング事業本部長

平成25年7月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 福岡支
社副支社長

平成26年3月 株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社) 取締役
福岡支社長兼ホスティング事業部長

平成27年1月 GMOペパボ株式会社取締役福岡支社長兼ホスティング事業
部長兼minne事業部長

平成27年6月 OCアイランド株式会社取締役

平成29年3月 GMOペパボ株式会社取締役福岡支社長兼ホスティング事業
部長 (現任)

■ 選任理由

永椎広典氏は、平成15年の入社以来、主にホスティング事業に従事し、ホ
スティング事業部長等を経て、現在はホスティング事業部を統括し福岡支社
長も務め、豊富な経験と実績を有しております。以上のことから、引き続き
取締役候補者といたしました。

候補者
番号

7



くりばやし けんたろう

栗 林 健太郎

(昭和51年12月12日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式
500株

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成13年 4 月 鹿児島県名瀬市役所（現奄美市役所）入所
平成20年 5 月 株式会社はてな入社
平成24年 5 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）入社
アドバンスド・シニア
平成25年 2 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）技術基
盤チーム アドバンスド・シニア
平成26年 8 月 GMOペパボ株式会社経営戦略部技術責任者
平成27年 1 月 GMOペパボ株式会社技術部長
平成27年 3 月 GMOペパボ株式会社執行役員CTO
平成29年 3 月 GMOペパボ株式会社取締役技術部長（現任）

・選任理由

栗林健太郎氏は、平成24年の入社以来、技術面から事業成長を図り技術部を統括するなど、豊富な知識と経験を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者いたしました。

候補者
番号

8



の が み ま ほ

野 上 真 穂

(現姓：田中)

(昭和53年11月14日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式
—

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成21年 5 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）入社
平成24年 4 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）経営管
理本部法務チームリーダー
平成24年 8 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）経営管
理本部法務部長
平成25年 7 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）コーポ
レート部法務グループマネージャー
平成28年 3 月 GMOペパボ株式会社経営管理部長
平成29年 3 月 GMOペパボ株式会社取締役経営管理部長（現任）

・選任理由

野上真穂氏は、平成21年の入社以来、一貫して法務部門を担当し、現在は経営管理部を統括し豊富な知識と業務経験を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者いたしました。

候補者
番号

9



にしやま ひろゆき

西山 裕之

(昭和39年8月14日生)

再 任

所有する当社の株式数
普通株式
—

■ 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

- 平成11年 9 月 株式会社まぐクリック（現GMOアドパートナーズ株式会社）
入社
- 平成12年 4 月 株式会社まぐクリック（現GMOアドパートナーズ株式会社）
代表取締役社長
- 平成13年 3 月 インターキュー株式会社（現GMOインターネット株式会社）
取締役
- 平成15年 3 月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）常務取締役グループメディア営業担当
- 平成18年 3 月 株式会社まぐクリック（現GMOアドパートナーズ株式会社）
取締役会長
- 平成19年 3 月 GMOインターネット株式会社専務取締役
- 平成20年 5 月 GMOインターネット株式会社専務取締役グループ事業部門
統括
- 平成22年 3 月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）取締役
（現任）
- 平成25年 3 月 GMOインターネット株式会社専務取締役グループ代表補佐
グループEC支援部門統括兼グループ人財開発統括
- 平成27年 3 月 GMOインターネット株式会社取締役副社長グループ代表補
佐グループEC支援部門統括兼グループ人財開発統括（現任）

■ 選任理由

西山裕之氏は、長きにわたり企業経営に携わっていることから、業界動向や経営に関する豊富な経験と高い見識を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者といたしました。

候補者
番号

10



いとう 正
伊藤 正

(昭和49年3月12日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

—

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成 9 年10月 インターキュー株式会社（現GMOインターネット株式会社）
入社
平成13年12月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）OEM事業本部長
平成16年 3 月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）取締役ビジネスパートナーカンパニープレ
ジデント
平成16年 9 月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）取締役ビジネスパートナー統括本部長
平成18年 8 月 GMOインターネット株式会社取締役グループ営業推進統括
本部長
平成20年 4 月 GMOインターネット株式会社常務取締役グループ営業推進
統括本部長
平成21年 1 月 GMOインターネット株式会社常務取締役事業本部長
平成25年 3 月 GMOクラウド株式会社取締役（現任）
株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）取締役
（現任）
GMOインターネット株式会社専務取締役グループインフラ
部門統括兼事業本部長（現任）

・選任理由

伊藤正氏は、長きにわたり企業経営に携わっていることから、業界動向や
経営に関する豊富な経験と高い見識を有しております。以上のことから、引
き続き取締役候補者としたしました。

候補者
番号

11

やすだ まさし
安田 昌史

(昭和46年6月10日生)

再 任

所有する当社の株式数

普通株式

—

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

- 平成12年 4月 公認会計士登録
インターキュー株式会社（現GMOインターネット株式会社）
入社
- 平成13年 9月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）経営戦略室長
- 平成14年 3月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）取締役経営戦略室長
- 平成15年 3月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）常務取締役グループ経営戦略担当兼IR担当
- 平成17年 3月 グローバルメディアオンライン株式会社（現GMOインター
ネット株式会社）専務取締役管理部門統括・グループ経営戦
略・IR担当
- 平成20年 5月 GMOインターネット株式会社専務取締役グループ管理部門
統括
- 平成25年 3月 GMOインターネット株式会社専務取締役グループ代表補佐
グループ管理部門統括
- 平成27年 3月 GMOインターネット株式会社取締役副社長グループ代表補
佐グループ管理部門統括（現任）
- 平成28年 3月 GMOメディア株式会社取締役（現任）
GMOクラウド株式会社取締役（現任）
GMOペパボ株式会社取締役（現任）
GMOリサーチ株式会社取締役（現任）
GMOアドパートナーズ株式会社取締役（現任）
GMO TECH株式会社取締役（現任）
- 平成28年 6月 GMOクリックホールディングス株式会社（現GMOフィナン
シャルホールディングス株式会社）取締役（現任）
- 平成28年 6月 あおぞら信託銀行株式会社社外監査役（現任）
- 平成28年12月 GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役（現任）

・選任理由

安田昌史氏は、公認会計士としての企業会計等に関する豊富な専門的知見を有しております。また、長きにわたり企業経営に携わっていることから、業界動向や経営に関する豊富な経験と高い見識を有しております。以上のことから、引き続き取締役候補者といたしました。

- (注) 1. 候補者佐藤健太郎氏は、当社の親会社であるGMOインターネット株式会社の取締役であり、当社は当該会社との間に取引関係があります。
2. 候補者熊谷正寿氏は、当社の親会社であるGMOインターネット株式会社の代表取締役会長兼社長グループ代表であり、また、GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役会長、GMOクラウド株式会社取締役会長、GMOアドパートナーズ株式会社取締役会長、GMOリサーチ株式会社取締役会長、GMO TECH株式会社取締役会長、GMOメディア株式会社取締役会長を兼任しており、当社は当該会社との間に取引関係があります。
3. 候補者西山裕之氏は、当社の親会社であるGMOインターネット株式会社の取締役副社長グループ代表補佐グループEC支援部門統括兼グループ人財開発統括であり、当社は当該会社との間に取引関係があります。
4. 候補者伊藤正氏は、当社の親会社であるGMOインターネット株式会社の専務取締役グループインフラ部門統括兼事業本部長であり、また、GMOクラウド株式会社取締役を兼任しており、当社は当該会社との間に取引関係があります。
5. 候補者安田昌史氏は、当社の親会社であるGMOインターネット株式会社の取締役副社長グループ代表補佐グループ管理部門統括であり、また、GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役、GMOクラウド株式会社取締役、GMOアドパートナーズ株式会社取締役、GMOリサーチ株式会社取締役、GMO TECH株式会社取締役、GMOメディア株式会社取締役を兼任しており、当社は当該会社との間に取引関係があります。
6. 上記以外の各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
7. 候補者野上真穂氏は、婚姻により田中姓となりましたが、旧姓の野上で業務を執行しております。
8. 当社は、平成29年1月1日付で、GMOペパボオーシー株式会社(旧OCアイランド株式会社)を吸収合併いたしました。

第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役全員（3名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、監査等委員である取締役3名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関しましてはあらかじめ監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役の候補者は次のとおりであります。

候補者 番 号	氏 名	地 位	当事業年度における監査等委員会への 出席状況（出席率）	当事業年度における 取締役会への出席状況（出席率）
1	再任 藁 科 明日香	監査等委員	就任以降の監査等委員会 10回中10回に出席 (100%)	就任以降の取締役会 12回中12回に出席 (100%)
2	再任 浜 谷 正 俊	監査等委員（社外）	13回中すべてに出席 (100%)	16回中すべてに出席 (100%)
3	再任 穴 戸 一 樹	監査等委員（社外）	13回中すべてに出席 (100%)	16回中すべてに出席 (100%)

候補者
番 号

1



わらしな あすか
藁 科 明日香
(現姓：津久井)
(昭和53年4月3日生)

再 任

所有する当社の株式数
普通株式
—

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成23年 5月 株式会社ウインライト入社
平成24年 4月 株式会社paperboy&co.（現GMOペパボ株式会社）入社
平成28年12月 GMOペパボ株式会社内部監査室マネージャー
平成29年 3月 GMOペパボ株式会社監査等委員である取締役（現任）

・選任理由

藁科明日香氏は、平成24年の入社以来、内部監査室に所属し、当社の事業の監査を実施しており、豊富な知識と経験を有しております。以上のことから、引き続き監査等委員である取締役候補者いたしました。

候補者
番 号

2



は ま た に ま さ と し

浜 谷 正 俊

(昭和44年10月9日生)

再 任

所有する当社の株式数
普通株式
—

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

平成 4 年 4 月	山一証券株式会社入社
平成 4 年 8 月	ユニバーサルテクノロジー株式会社入社
平成 10 年 10 月	センチュリー監査法人（現新日本有限責任監査法人）入所
平成 15 年 3 月	公認会計士登録
平成 16 年 10 月	株式会社新生銀行入社
平成 17 年 6 月	昭和リース株式会社監査役 株式会社ワイエムエスシックス監査役
平成 22 年 7 月	株式会社清新FAS代表取締役
平成 22 年 10 月	東京国税不服審判所に出向 国税審判官任官
平成 25 年 1 月	株式会社清新FAS代表取締役（現任）
平成 26 年 3 月	GMOリサーチ株式会社社外監査役（現任）
平成 28 年 3 月	GMOペパボ株式会社監査等委員である社外取締役（現任）

・選任理由

浜谷正俊氏は、公認会計士としての企業会計等に関する豊富な専門的知見を有しており当社の監査等委員である社外取締役に相応しい経験と能力を有しております。以上のことから、引き続き監査等委員である社外取締役の候補者といたしました。

候補者
番号

3



し し ど か ず き
穴 戸 一 樹

(昭和52年1月29日生)

再 任

所有する当社の株式数
普通株式
一

・略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

- 平成12年10月 弁護士登録（第一東京弁護士会）
田辺総合法律事務所入所
- 平成17年6月 弁護士法人キャスト糸賀（現弁護士法人瓜生・糸賀法律事務所）入所
- 平成22年4月 立教大学法科大学院兼任講師（現任）
- 平成23年4月 一般財団法人日本スポーツ仲裁機構（現公益財団法人日本スポーツ仲裁機構）理解増進事業専門職員
- 平成24年4月 上智大学法学研究科法曹養成専攻非常勤講師（前期のみ）（現任）
- 平成24年6月 公益財団法人井上育英会評議員（現任）
- 平成26年9月 株式会社ニコン生命倫理審査委員会委員（現任）
- 平成27年4月 独立行政法人日本スポーツ振興センター日本アンチ・ドーピング規律パネル委員（現任）
- 平成28年3月 GMOペパボ株式会社監査等委員である社外取締役（現任）

・選任理由

穴戸一樹氏は、弁護士として豊富な経験と幅広い見識を有しており当社の監査等委員である社外取締役に相応しい経験と能力を有しております。同氏は、過去に、直接会社経営に関与した経験はありませんが、以上のことから、引き続き監査等委員である社外取締役としての職務を遂行できるものと判断しております。

- (注) 1. 候補者藁科明日香氏は、婚姻により津久井姓となりましたが、旧姓の藁科で業務を執行しております。
2. 候補者浜谷正俊氏は、当社の特定関係事業者（親会社の子会社）であるGMOリサーチ株式会社の社外監査役であり、当社は当該会社との間に取引関係があります。同氏以外の各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
3. 候補者浜谷正俊及び穴戸一樹の両氏は、社外取締役候補者であります。
4. 候補者浜谷正俊及び穴戸一樹の両氏は、監査等委員である社外取締役に就任して2年となります。候補者藁科明日香氏は、監査等委員である取締役に就任して1年となります。
5. 当社は、候補者浜谷正俊及び穴戸一樹の両氏を、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、各氏が監査等委員である取締役に選任された場合引き続き独立役員となる予定であります。
6. 当社は、候補者浜谷正俊及び穴戸一樹の両氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としており、各氏が再任された場合、当該責任限定契約を継続する予定であります。

以上

事業報告 （自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日）

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

① 全般的概況

当社は、「インターネットで可能性をつなげる、ひろげる」というミッションの下、主に個人の表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しております。

平成15年の創業以来、当社の業績を牽引しているレンタルサーバー「ロリポップ!」では、新たな顧客層の獲得を図るべく、リブランディングを実施し、デザイン及びコンセプトを一新いたしました。また、今後における事業拡大の基盤作りのため、従来のレンタルサーバーとは一線を画す新たなホスティングサービスの提供を行うべく、当社の研究開発組織「ペパボ研究所」と共に、新プラン「マネージドクラウド」の開発を進めました。なお、新プラン「マネージドクラウド」につきましては、正式リリースに先駆け、平成29年11月29日よりβ版を無料公開しております。

ネットショップ運営サービス「カラーミーショップ」においては、Amazon Payの導入など決済機能を拡充したほか、自宅以外での荷物受け取りが可能となる「EC自宅外受け取り」を提供開始するなど、ショップオーナー及び購入者双方の利便性向上に務めた結果、契約件数及び顧客単価が堅調に推移いたしました。なお、EC事業におきましても、新たに平成29年11月に定期販売サービス「カラーミーリピート」の提供を開始していることから、ホスティング事業同様にECでのビジネス領域を広げることによる収益の増加を図ってまいります。

作品数、作家数国内No.1のハンドメイドマーケット「minne」においては、プロモーションへの投資を継続し、Web広告及びCM放映などを積極的に展開したことに加え、オフライン施策として「minneのハンドメイドマーケット」及び「ハンドメイド大賞」を実施するなど、認知度の拡大に努めました。その結果、当事業年度におきましては、スマートフォンアプリの累計ダウンロード数は863万DLとなり、流通金額は102億円（前年同期比22.6%増）となりました。なお、同期間における「minne」への広告宣伝費は、積極的にWeb広告を展開したことに加え、当第4四半期にCMを放映したことから、11億円（前年同期比9.4%増）となりました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高7,365,338千円（前年同期比8.1%増）、営業利益143,665千円（前年同期比6.6%増）、経常利益172,823千円（前年同期比5.1%増）、当期純利益119,820千円（前年同期比41.0%増）となりました。

② セグメント別概況

当社は、平成28年12月期は連結業績を開示しておりましたが、当事業年度より非連結での業績を開示しております。そのため、セグメント別の前年同期との比較は記載しておりません。

【ホスティング事業】

ホスティング事業には、主に個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバー「ロリポップ!」及びドメイン取得代行「ムームードメイン」が属しております。

「ロリポップ!」におきましては、リブランディングの一環として、1月にサイトリニューアルを実施いたしました。これにより契約件数は堅調に推移し、レンタルサーバーの契約数は、438,171件（前年同期末比3,893件増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、ドメイン更新時の複数年契約に対する割引キャンペーンが好評となり、登録ドメイン数は1,230,317件（前年同期末比35,760件増）と順調に増加しました。

以上の結果、当事業年度におけるセグメント売上高は4,122,061千円、セグメント利益は1,312,802千円となりました。

【EC支援事業】

EC支援事業には、主にネットショップ事業者に向けたショッピングカートASPサービス「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」が属しております。

「カラーミーショップ」におきましては、機能開発やUIの改善を行い、アップセルの推進に努めた結果、顧客単価が1,538円（前年同期比7.2%増）となりました。

また、「SUZURI」におきましては、作成可能アイテムの拡充に努める中で、新アイテムのサコッシュがSNSを中心に話題になったことや各種キャンペーンにより、累積会員数は185,273人（前年同期末比45,493人増）となりました。

以上の結果、当事業年度におけるセグメント売上高は1,624,264千円、セグメント利益は775,946千円となりました。

【ハンドメイド事業】

ハンドメイド事業には、主にハンドメイドマーケット「minne」が属しております。

「minne」におきましては、首都圏におけるCM放映をはじめ、年末商戦に向けたキャンペーン及びプロモーションの強化を図った結果、平成29年12月の月間流通額は過去最高額となる10億円超を記録し、当事業年度における流通金額は、102億円（前年同期比22.6%増）と堅調に推移しました。

以上の結果、当事業年度におけるセグメント売上高は1,392,778千円、セグメント損失は1,037,238千円となりました。

【コミュニティ事業】

コミュニティ事業では、ブログサービス「JUGEM」が属しております。

「JUGEM」におきましては、広告売上の減少により、当事業年度におけるセグメント売上高は202,030千円、セグメント利益は101,965千円となりました。

【その他】

当事業年度におけるセグメント売上高は24,202千円、セグメント損失は2,372千円となりました。

なお、「PEPABO WiMAX」は、平成29年2月1日付けで事業譲渡を行っております。

(2) 設備投資の状況

当事業年度中において実施しました設備投資等の総額は240,810千円で、その主な内容は、以下のとおりです。なお、当社の設備において、ソフトウェアは重要な資産であるため、有形固定資産のほか無形固定資産のうちソフトウェアを含めて記載しております。

① 有形固定資産

既存サービスに係るサーバー等の通信機器設備の追加投資額	119,959千円
-----------------------------	-----------

② 無形固定資産

自社利用サービスのためのソフトウェアの新規開発及び機能追加等の開発投資額	120,850千円
--------------------------------------	-----------

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当社は、以下3点を主な経営課題として認識しております。

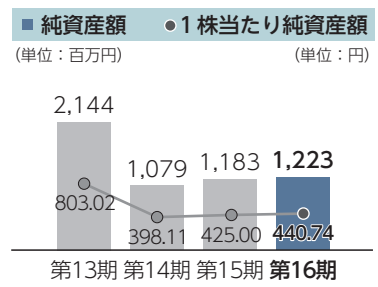
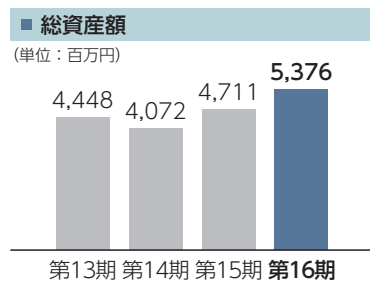
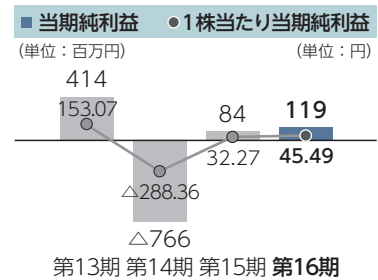
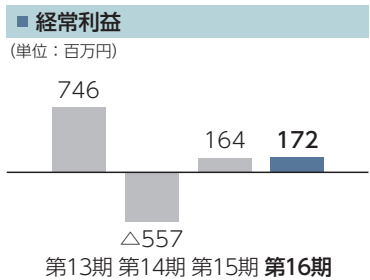
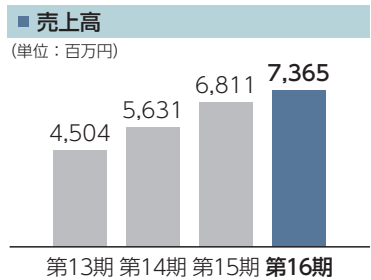
- ・ ハンドメイド事業のさらなる成長
「minne」及びハンドメイドの認知度向上による流通金額拡大
- ・ 成長性の高い市場への新サービス投入による戦略的な事業成長
既存サービスの収益をベースに、そのブランド力及び運営ノウハウを生かした新サービスを投入し、事業領域を拡大
- ・ 多様な人材の確保と企業体制の強化
継続的に事業を成長させるための人材育成及び社内環境整備

当社は、ユーザーの多岐にわたる表現活動をサポートする企業として、有機的に事業成長し続けるために、これらの経営課題に対し、成長スピードに応じたリスク管理体制・法令遵守体制などコーポレート・ガバナンスの強化を図ってまいります。

また、平成30年1月7日にネットショップ運営サービス「カラーミーショップ」に対する不正アクセスがあり、情報流出及びその可能性が発覚いたしました。当社はこれを受け、全社を挙げて技術面及び組織面の強化を着実に実施することで、セキュリティ強化を推進し、全てのステークホルダーの皆様の信頼回復に努めてまいります。

(5) 財産及び損益の状況

区 分	単位	第13期 (H26/1-H26/12)	第14期 (H27/1-H27/12)	第15期 (H28/1-H28/12)	第16期 (当期) (H29/1-H29/12)
売上高	(千円)	4,504,327	5,631,752	6,811,435	7,365,338
経常利益又は 経常損失 (△)	(千円)	746,213	△557,211	164,367	172,823
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(千円)	414,053	△766,975	84,997	119,820
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△)	(円)	153.07	△288.36	32.27	45.49
総資産額	(千円)	4,448,389	4,072,691	4,711,010	5,376,958
純資産額	(千円)	2,144,593	1,079,518	1,183,718	1,223,048
1株当たり純資産額	(円)	803.02	398.11	425.00	440.74



(注) 1. 売上高に、消費税等は含まれておりません。
 2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数に基づいて算出しております。
 3. 1株当たり純資産額は、期末発行済株式数（自己株式控除後）に基づいて算出しております。
 4. 当社は、平成27年5月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行いました。第13期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。
 5. 平成29年1月1日付で連結子会社であったGMOペパボオーシー株式会社を吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、各数値については単体の数値を記載しております。

(6) 主要な事業内容

	サービス名称	サービス内容
ホスティング	ロリポップ！	簡単、多機能、高速性能のレンタルサーバー及びASPサービス
	ヘテムル	クリエイター向けレンタルサーバー及びASPサービス
	ムームードメイン	ドメイン取得代行サービス
E C支援	カラーミーショップ	ネットショップ運営サービス
	グーペ	ホームページ作成サービス
	SUZURI	オリジナルグッズ作成・販売サービス
ハンドメイド	minne	ハンドメイドマーケットサービス
コミュニティ	JUGEM	無料・有料ブログ作成サービス

(7) 主要な営業所

(本社) 東京都渋谷区

(支社) 福岡県福岡市

(8) 重要な親会社及び子会社の状況

① 親会社等の状況

(i) 親会社との関係

当社の親会社はGMOインターネット株式会社で、同社は直接保有、間接保有を含め当社の株式1,714,400株（議決権比率65.1％（うち2.1％は間接保有））を保有しております。

なお、当社は親会社からの役員の兼任があり、親会社との間に営業上の取引関係があります。

(ii) 親会社等との間の取引に関する事項

当社は、親会社等との取引に関して、取引条件等の内容の適正性をその他業者との取引条件との比較などから慎重に検討して決定しておりますので、妥当性はあると考えております。また、当社取締役会を中心とした当社独自の基準に基づく意思決定を行っており、手続の正当性について問題はないものと考えております。

② 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

③ 事業年度末日における特定完全子会社の状況

該当事項はありません。

④ その他重要な企業結合の状況

特記すべき事項はありません。

(9) 従業員の状況

区 分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男	160名	4名増	33.0歳	5.0年
女	97名	10名増	31.3歳	4.8年
合計又は平均	257名	14名増	32.3歳	4.9年

(注) 上記のほかに臨時従業員71名がおります。

(10) 主要な借入先の状況

該当事項はありません。

2 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 3,000,000株
(2) 発行済株式の総数 2,717,300株
(3) 株主数 1,583名
(4) 大株主（上位10名）

株 主 名	持 株 数 (株)	持株比率 (%)
GMOインターネット株式会社	1,660,000	63.01
NOMURA SECURITIES INTERNATIONAL INC A/C PRIME	122,900	4.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	74,200	2.81
GMOアドパートナーズ株式会社	54,000	2.04
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	34,117	1.29
山田 直樹	32,000	1.21
CREDIT SUISSE AG HONG KONG TRUST A/C CLIENT	26,000	0.98
西村 裕二	23,700	0.89
株式会社SBI証券	23,000	0.87
佐藤 健太郎	19,500	0.74

- (注) 1. 当社は、自己株式83,146株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

3 会社の新株予約権等に関する事項

(1) 当事業年度末日に当社役員が有する新株予約権等の状況

発行決議日	平成27年2月16日開催 取締役会		
新株予約権の数	228個		
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式		
新株予約権の目的となる株式の数	45,600株(注1)		
新株予約権の払込金額	払込を要しない		
権利行使時1株当たりの行使価額	3,675円(注1)		
新株予約権の行使期間	平成29年2月17日から平成34年2月16日まで		
新株予約権の行使条件	(注2)		
役員の保有状況	新株予約権の数	目的である株式の種類及び数	保有者数
取締役（監査等委員である取締役を除く。）	228個	普通株式45,600株	7名(注3)

- (注) 1. 平成27年5月1日付けで、普通株式1株につき普通株式2株の割合をもって株式分割を実施しているため、新株予約権の目的となる株式の数及び権利行使時1株当たりの行使価額は、分割後の数値で記載しております。
2. ① 新株予約権の割当てを受けた者は、権利行使時においても、当社及び当社子会社の取締役、監査役、従業員のいずれかの地位にあることを要するものとします。ただし、当社が諸般の事情を考慮のうえ特例として取締役会で承認した場合はこの限りではないものとします。
- ② 新株予約権者が死亡した場合は、新株予約権の相続を認めないものとします。
- ③ その他の行使の条件は、取締役会決議に基づき、別途当社と新株予約権者との間で締結する「第2回新株予約権割当契約書」に定めるところによります。
3. 取締役（監査等委員である取締役を除く。）2名が保有している新株予約権は、使用人として在籍時に付与されたものであります。

(2) 当事業年度中に使用人等に交付した新株予約権等の状況

該当事項はありません。

4 会社役員に関する事項

(1) 取締役の氏名等（平成29年12月31日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	佐 藤 健太郎	GMOインターネット株式会社取締役
取締役会長	熊 谷 正 寿	GMOインターネット株式会社代表取締役会長兼社長 グループ代表 GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役会長 GMOアドパートナーズ株式会社取締役会長 GMOクラウド株式会社取締役会長 GMOリサーチ株式会社取締役会長 GMO TECH株式会社取締役会長 GMOメディア株式会社取締役会長
常務取締役	星 隼 人	EC事業部担当
常務取締役	五十島 啓 人	HR統括部長
取締役	河 添 理	SH事業部長
取締役	永 椎 広 典	福岡支社長 ホスティング事業部長
取締役	栗 林 健太郎	技術部長
取締役	野 上 真 穂	経営管理部長

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
取締役	西 山 裕 之	GMOインターネット株式会社取締役副社長グループ代表補佐グループEC支援部門統括兼グループ人財開発統括
取締役	伊 藤 正	GMOインターネット株式会社専務取締役グループインフラ部門統括兼事業本部長 GMOクラウド株式会社取締役
取締役	安 田 昌 史	GMOインターネット株式会社取締役副社長グループ代表補佐グループ管理部門統括 GMOペイメントゲートウェイ株式会社取締役 GMOアドパートナーズ株式会社取締役 GMOクラウド株式会社取締役 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社取締役 GMOリサーチ株式会社取締役 GMO TECH株式会社取締役 GMOメディア株式会社取締役 あおぞら信託銀行株式会社社外監査役
取締役（監査等委員）	藁 科 明日香	—
取締役（監査等委員）（社外）	浜 谷 正 俊	株式会社清新FAS代表取締役 GMOリサーチ株式会社社外監査役
取締役（監査等委員）（社外）	穴 戸 一 樹	弁護士法人瓜生・糸賀法律事務所パートナー弁護士

(注) 1. 取締役浜谷正俊、同穴戸一樹の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査等委員会の監査・監督機能を強化し、取締役（監査等委員である取締役を除く。）からの情報収集及び重要な社内会議における情報共有並びに内部監査部門と監査等委員会との十分な連携を可能にするため、取締役藁科明日香氏を常勤の監査等委員に選定しております。
3. 取締役五十島啓人氏、同安田昌史氏及び同浜谷正俊氏は公認会計士の資格を有しており、財務、会計に関する相当程度の知見を有しております。取締役穴戸一樹氏は弁護士の資格を有しており、法律に関する相当程度の知見を有しております。
4. 当社は株式会社東京証券取引所に対して、取締役浜谷正俊、同穴戸一樹の両氏を独立役員とする独立役員届出書を提出しております。
5. 当事業年度中の取締役の異動の状況は以下のとおりであります。
平成29年3月18日開催の第15期定時株主総会終結の時をもって、取締役（監査等委員）久保田文之氏は、辞任により退任いたしました。

(2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、社外取締役浜谷正俊、同穴戸一樹の両氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償の限度額は同法第425条第1項各号の合計額であります。

(3) 取締役の報酬等の額

区 分	人 数	報酬等の額
取 締 役 (監査等委員である取締役を除く。) (うち社外取締役)	7 名 (一 名)	125,022千円 (一 千円)
取 締 役 (監査等委員) (うち社外取締役)	4 名 (2 名)	15,149千円 (7,200千円)
合 計	11 名	140,172千円

- (注) 1. 上記支給額のほか、社外取締役1名が当社親会社又は親会社の子会社から受けた役員報酬の総額は3,600千円であります。
2. 期末現在の取締役の数と上記報酬支給人員数とに相違がありますが、これは、親会社から派遣されている取締役にについて無報酬としていることによるものであります。
3. 上記の報酬等の額には、ストックオプションとして付与した新株予約権に係る当事業年度中の費用計上額（取締役3,226千円（うち社外取締役 一 千円））を含んでおります。
4. 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬限度額は、平成28年3月20日開催の第14期定時株主総会において年額200,000千円以内（うち社外取締役の報酬限度額は年額20,000千円以内）と決議されております。
5. 取締役（監査等委員）の報酬限度額は、平成28年3月20日開催の第14期定時株主総会において年額30,000千円以内と決議されております。

(4) 社外役員に関する事項

① 重要な兼職先である法人等と当社との関係

取締役浜谷正俊氏は、GMOリサーチ株式会社社外監査役を兼任しております。

なお、当社は、GMOリサーチ株式会社との間に営業上の取引関係があります。

② 当該事業年度における主な活動状況

区 分	氏 名	主な活動状況
社外取締役 (監査等委員)	浜 谷 正 俊	当事業年度に開催された取締役会には16回中すべて、監査等委員会には13回中すべてに出席し、公認会計士としての専門的見地から適宜発言を行っております。
社外取締役 (監査等委員)	穴 戸 一 樹	当事業年度に開催された取締役会には16回中すべて、監査等委員会には13回中すべてに出席し、弁護士としての専門的見地から適宜発言を行っております。

5 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

有限責任監査法人トーマツ

(2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

	支払額
当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	18,500千円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の報酬の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

(3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

(4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査等委員の全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。

また、監査等委員会は、会計監査人の職務遂行状況等を総合的に判断し、監査の適正性及び信頼性が確保できないと認めたときは、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

6 業務の適正を確保するための体制及び運用状況

当社グループは、株主や顧客をはじめとするステークホルダーの公正かつ公平な利益を守るとともに、企業価値の継続的な向上を図るため、コンプライアンスの徹底とコーポレート・ガバナンス体制の強化に取り組んでおります。

企業理念及びミッションを実現するために、適正な業務執行のための体制を整備し、運用して行くことが重要な経営の責務であると認識し、内部統制システム構築の基本方針を定めるとともに、今後とも社会・経済情勢その他の環境の変化に応じて適宜見直しを行い、その改善・充実に努めてまいります。

(1) 業務の適正を確保するための体制

取締役の業務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は、以下のとおりであります。

① 当社グループの取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

取締役会は、取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するため、コンプライアンス体制の整備に努めています。

コンプライアンス意識の浸透、向上を図るため従業員に対するコンプライアンス教育を実施しております。

内部監査室によりコンプライアンス体制の有効性について監査が行われるとともに、コンプライアンス体制の状況は代表取締役社長に報告しております。

各取締役は、取締役又は使用人の職務の執行が法令及び定款に適合していない事実を発見した場合、取締役会及び監査等委員会に報告いたします。監査等委員会は、取締役の職務の執行について監査を行います。

当社グループは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは、一切の関係をもたないことを基本方針とし、反社会的勢力から不当要求を受けた場合には、組織全体で毅然とした態度で臨み、反社会的勢力による被害の防止に努める体制を整備しております。

② 当社の取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報は、情報セキュリティ規程及び文書管理規程等の社内規程に従って文書又は電磁的記録により適切に保存、管理を行っております。取締役は、これらの情報を常時閲覧することができま

③ 当社グループの損失の危険の管理に関する規程その他の体制

リスク管理は企業価値を向上させる仕組みであるとの認識の下、リスク発生事案に関する情報の把握と顕在化したリスクによる顧客及び当社への影響を極小化するための対策を推進し、適切なリスク管理を行うことを経営の重要課題と位置づけ、ペパボ向上委員会規程に基づき、ペパボ向上会議を設置し、同会議で、リスク管理に関する体制、方針の決定、及び各部署のリスク管理体制についての評価、指導を行い、その結果を定期的に取り締めに報告する体制を構築しております。

また、事業の特性上、情報セキュリティをより重要と認識していることから、セキュリティ管理委員会規程を定め、経営活動に寄与すべく情報資産の利用・保護体制の整備・強化を行います。なお、重大なインシ

デント発生時には対策本部を設置し、顕在化したリスクによる顧客及び当社への影響を極小化するための体制を構築しております。

内部監査室は、リスク管理の状況を監査するとともに、内部監査の実施によって損失の危険のある業務執行行為を発見した場合には、発見した危険の内容、損失の程度等について経営会議及び監査等委員会に報告いたします。

④ 当社グループの取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会は月一回定時取締役会を開催し、必要に応じて臨時取締役会を開催しております。

取締役会から委嘱された業務執行については、代表取締役社長を議長とし常勤取締役を主要なメンバーとする経営会議を毎週一回開催し、その審議を経て決定を行います。

組織規程、業務分掌規程及び職務権限規程等により各取締役の担当、権限及び責任を明確化しております。

また、取締役会において選任された執行役員に業務執行の権限及び責任を委譲することにより、機動的に職務を執行いたします。

⑤ 当社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

当社グループと親会社等との取引については、非支配株主保護の観点から、取引条件の客観性及び合理性を確保するため、その取引について慎重に検討し判断しております。

当社は、当社グループ各社に取締役もしくは監査役を一定数派遣し、業務執行の状況について常時把握し、重要な意思決定事項については、事前に当社取締役会に付議することにより、企業集団全体としての業務の適正を確保いたします。

関係会社管理規程に基づき、代表取締役社長統括のもと、各担当取締役及び担当部門が当社グループ各社に対して必要な業務の執行及び管理を行います。また、当社グループ各社の責任者が参加する会議等において、情報共有することにより、その状況を把握しております。さらに、監査等委員会及び内部監査室が子会社監査を実施することにより業務の適正を確保いたします。

⑥ 監査等委員会の職務を補助すべき取締役及び使用人に関する事項

監査等委員会において監査等委員会の職務を補助すべき使用人を求める決議がされた場合は、速やかに使用人を選任し、監査等委員会の指揮命令のもとで、業務を補助する体制をとります。

⑦ 監査等委員会の職務を補助すべき使用人の取締役からの独立性及び当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

監査等委員会の職務を補助すべき使用人の独立性を確保するため、当該使用人の任命、異動、人事考課等の人事権に係る事項の決定は、監査等委員会の同意を得るものとします。

⑧ 取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び使用人が監査等委員会に報告をするための体制その他の監査等委員会への報告に関する体制

監査等委員である取締役は取締役会に出席し報告を受けます。また、監査等委員である常勤取締役は、経

常会議その他重要な会議に出席し報告を受けます。

監査等委員会は、稟議書等重要な決裁書類等を閲覧し、必要に応じて取締役、使用人等にその説明を求め、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握することができるものとします。

取締役は、以下に定める事項について発見したときは直ちに監査等委員会にこれを報告するものとします。

- ① 会社の信用を大きく低下させたもの、又はその恐れのあるもの
- ② 会社の業績に大きく悪影響を与えたもの、又はその恐れのあるもの
- ③ 社内規程違反で重要なもの
- ④ その他上記①～③に準じる事項

⑨ 当社の子会社の取締役、監査役、業務を執行する社員、会社法第598条第1項の職務を行うべき者その他これらの者に相当する者及び使用人又はこれらの者から報告を受けた者が当社の監査等委員会に報告をするための体制

当社の内部監査部門は子会社の内部監査の状況について、当社の監査等委員会へ報告します。また、当社グループの内部通報制度の担当部署は、当社グループの役職員からの内部通報の状況について、定期的に当社の監査等委員会に対して報告しております。

⑩ 当社の監査等委員会へ報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合していない事実を発見した者が通報できる体制（内部通報制度及びヘルプライン窓口）を整備し、内部通報規程において、監査等委員会へ報告した者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを定めております。

⑪ 監査等委員の職務の執行（監査等委員会の職務の執行に関するものに限る。）について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項

当社は、監査等委員の職務の執行（監査等委員会の職務の執行に関するものに限る。）について生ずる費用等を支弁するため、毎期、一定額の予算を設けます。また、当該費用等が、当該監査等委員の職務の執行に必要でないと認められた場合を除き、当該費用等を負担いたします。

⑫ その他監査等委員会の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査等委員会は、内部監査室及び会計監査人と意見交換を行い、効率的な監査を行います。

また、監査等委員会と代表取締役は定期的に情報及び意見の交換を行い、相互の意思疎通を図ります。

(2) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

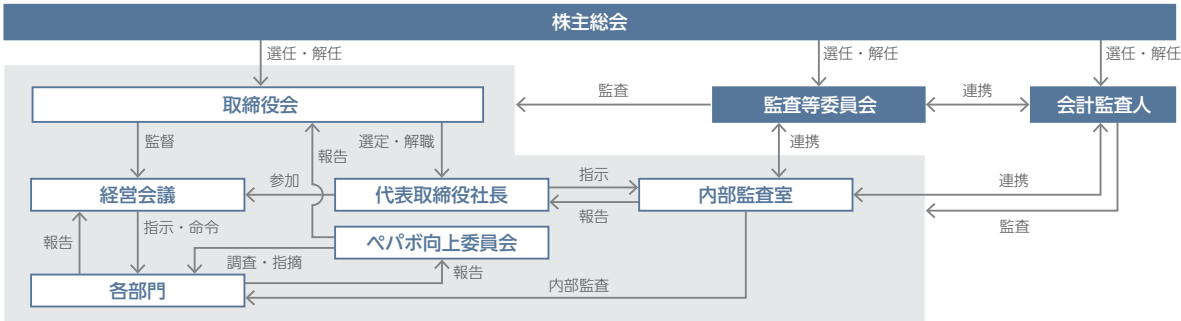
平成29年度は、取締役会を16回、経営会議を50回、監査等委員会を13回、ペパボ向上会議を3回開催しております。

当社のコンプライアンス体制の有効性、リスク管理の状況及び業務の適正等については内部監査室による

監査を実施しております。

また、社内及び社外に設置された内部通報窓口及びヘルプライン窓口において随時内部通報を受け付けております。

■ 当社のコーポレート・ガバナンス及び内部管理体制の概要



7 剰余金の配当等の決定に関する方針

環境変化の激しいインターネット業界においては、企業体質の強化及び積極的な事業展開に備えるための内部留保の充実が重要であると考えますが、利益還元も重要な経営課題と認識しております。当社では、株主の皆様のご支援にお応えすべく、事業の成長に基づく中長期的な株式価値の向上とともに、業績に連動した配当（配当性向50％）を目標とする基本方針を掲げており、会社法第459条の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行う旨を定款に定めております。

なお、当事業年度の期末配当金につきましては、上記の配当方針に基づき、1株当たり25円とすることを平成30年2月19日開催の取締役会において決議いたしました。

ご参考：ダイバーシティの取り組みについて

当社は、一人ひとりが最大限に力を発揮し、アイデアを活発にアウトプットすることで、イノベーションを生み出すことが会社の継続的な成長につながるものと認識しております。

当社では、女性従業員の割合が平成24年の38.1％から平成29年には45.9％と上昇し、産前産後休業後、及び育児休業後においても、大半の従業員が復職しております。また、新しい働き方に目を向け、フレックス勤務やリモートワークも試験的に実施しております。

ユニークで多様な視点を生み出すダイバーシティを大切にし、皆様の期待に応えられるよう努力してまいります。

女性従業員の人数及び割合

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
人数（人）	85	94	106	145	155	152
割合（％）	38.1	39.8	43.1	47.4	46.7	45.9

（注）臨時従業員を含みます。

（注） 本事業報告に記載の金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

計算書類

貸借対照表 (平成29年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	第16期 平成29年12月31日現在	(ご参考) 第15期 平成28年12月31日現在
● 資産の部		
流動資産	4,358,358	3,729,214
現金及び預金	1,591,185	1,504,115
関係会社預け金	800,000	600,000
売掛金	1,745,308	1,424,124
貯蔵品	2,068	1,265
前渡金	25,083	45,028
前払費用	95,265	59,074
預け金	89,170	89,170
親会社株式	9,040	—
その他	14,423	21,937
貸倒引当金	△13,186	△15,502
固定資産	1,018,600	981,795
有形固定資産	297,795	309,004
建物	46,708	49,532
工具、器具及び備品	250,080	258,359
その他	1,006	1,112
無形固定資産	245,244	201,669
ソフトウェア	216,430	175,471
ソフトウェア仮勘定	28,189	25,574
その他	624	624
投資その他の資産	475,560	471,121
投資有価証券	366,200	363,035
関係会社株式	8,640	8,640
長期貸付金	15,800	15,800
敷金及び保証金	84,919	83,645
資産合計	5,376,958	4,711,010

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
 2. (ご参考) 第15期 (平成28年12月31日現在) は、監査対象外です。

(単位：千円)

科 目	第16期 平成29年12月31日現在	(ご参考) 第15期 平成28年12月31日現在
● 負債の部		
流動負債	4,099,969	3,474,616
営業未払金	121,595	129,587
未払金	1,627,462	1,172,208
未払費用	145,396	139,118
未払法人税等	30,210	39,820
未払消費税等	54,394	97,947
前受金	1,678,202	1,567,011
預り金	381,494	313,598
賞与引当金	41,094	—
役員賞与引当金	7,000	—
その他	13,118	15,323
固定負債	53,940	52,675
資産除去債務	27,104	25,754
繰延税金負債	26,835	26,920
負債合計	4,153,909	3,527,291
● 純資産の部		
株主資本	1,110,583	1,069,787
資本金	159,677	159,677
資本剰余金	149,677	149,677
資本準備金	149,677	149,677
利益剰余金	1,056,204	1,015,409
利益準備金	3,650	3,650
その他利益剰余金	1,052,554	1,011,759
繰越利益剰余金	1,052,554	1,011,759
自己株式	△254,976	△254,976
評価・換算差額等	50,393	49,723
その他有価証券評価差額金	50,393	49,723
新株予約権	62,071	64,207
純資産合計	1,223,048	1,183,718
負債及び純資産合計	5,376,958	4,711,010

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
 2. (ご参考) 第15期 (平成28年12月31日現在) は、監査対象外です。

損益計算書 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年12月31日)

(単位：千円)

科 目	第16期 自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年12月31日		(ご参考) 第15期 自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年12月31日	
売上高		7,365,338		6,811,435
売上原価		2,929,270		2,952,114
売上総利益		4,436,067		3,859,320
販売費及び一般管理費		4,292,402		3,724,499
営業利益		143,665		134,821
営業外収益				
受取利息	1,716		2,389	
受取配当金	—		3,354	
投資事業組合運用益	15,254		15,530	
開発支援金	250		5,000	
ポイント失効益	14,221		—	
その他	3,417	34,860	7,898	34,172
営業外費用				
為替差損	—		553	
投資事業組合運用損	3,215		1,415	
その他	2,487	5,702	2,658	4,626
経常利益		172,823		164,367
特別利益				
関係会社株式売却益	—	—	50,000	50,000
特別損失				
減損損失	1,438		5,037	
投資有価証券評価損	15,213		1,207	
関係会社貸付金貸倒損失	—	16,651	73,000	79,245
税引前当期純利益		156,171		135,121
法人税、住民税及び事業税	37,038		30,274	
法人税等調整額	△686	36,351	19,849	50,123
当期純利益		119,820		84,997

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. (ご参考) 第15期 (平成28年 1 月 1 日から平成28年12月31日まで) は、監査対象外です。

株主資本等変動計算書

(自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日)

(単位：千円)

項 目	株 主 資 本						
	資 本 金	資本剰余金	利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本 合 計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰 余 金	利益剰余金 合 計		
				繰越利益 剰 余 金			
当期首残高	159,677	149,677	3,650	1,011,759	1,015,409	△254,976	1,069,787
当期変動額							
剰余金の配当				△79,024	△79,024		△79,024
当期純利益				119,820	119,820		119,820
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	－	－	－	40,795	40,795	－	40,795
当期末残高	159,677	149,677	3,650	1,052,554	1,056,204	△254,976	1,110,583

項 目	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評 価 差 額 金		
当期首残高	49,723	64,207	1,183,718
当期変動額			
剰余金の配当			△79,024
当期純利益			119,820
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	670	△2,135	△1,465
当期変動額合計	670	△2,135	39,330
当期末残高	50,393	62,071	1,223,048

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

監査報告書

会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

平成30年2月13日

GMOペパボ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員 公認会計士 小 野 英 樹 ㊞
業 務 執 行 社 員

指定有限責任社員 公認会計士 大 辻 隼 人 ㊞
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、GMOペパボ株式会社の平成29年1月1日から平成29年12月31日までの第16期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査等委員会の監査報告書 謄本

監 査 報 告 書

当監査等委員会は、平成29年1月1日から平成29年12月31日までの第16期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- ① 監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部監査部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び支社において業務及び財産の状況を調査しました。
- ② 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及びその理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
- ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。
- ⑤ 事業報告に記載の平成30年1月に発生した第三者による不正アクセスに起因した情報流出及びその可能性が発生した件に関しては、再発防止委員会を設置し、再発防止策が検討されていることを当監査等委員会でも確認しております。今後監査等委員会においても、再発防止に係る取組みが継続的かつ効果的に推し進められていることを確認してまいります。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成30年2月15日

GMOペパボ株式会社 監査等委員会

常勤監査等委員	藁科明日香	㊞
監査等委員	浜谷正俊	㊞
監査等委員	穴戸一樹	㊞

(注) 監査等委員浜谷正俊及び穴戸一樹の両氏は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

株主総会会場 ご案内図

会場／東京都渋谷区桜丘町26番1号
セルリアンタワー東急ホテル 地下2階 ボールルーム
連絡先 03-3476-3000 (ホテル代表番号)

招集ご通知はWEB (PDF) から
もご覧いただけます

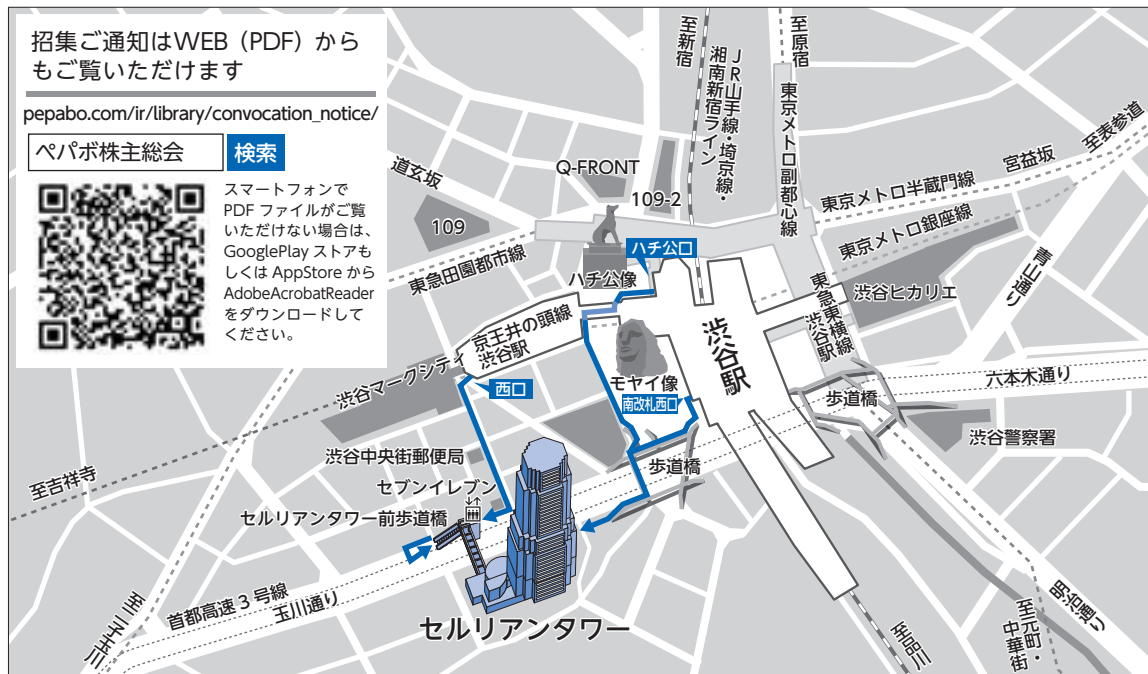
pepabo.com/ir/library/convocation_notice/

ペパボ株主総会

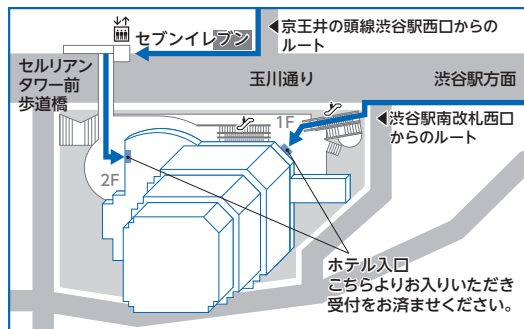
検索



スマートフォンで
PDF ファイルがご覧
いただけない場合は、
GooglePlay ストアも
しくは AppStore から
Adobe Acrobat Reader
をダウンロードして
ください。



セルリアンタワー詳細図



交通のご案内

各渋谷駅より徒歩5分

- JR山手線、JR埼京線、JR湘南新宿ライン
- 東急東横線、東急田園都市線
- 京王井の頭線
- 東京メトロ銀座線、東京メトロ半蔵門線、東京メトロ副都心線

ご案内

本株主総会終了後、同会場にて「ペパボ近況報告会」を実施します。今期の方針などをご説明させていただきますので、ご多忙の折とは存じますが、ぜひともご参加くださいますよう、心よりお待ち申し上げております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。